環境に優しいモノづくり ②

環境技術を売り込め

チームE関西の活動が本格化

関西企業の環境技術・ノウハウをアジアに売り込む活動が進んでいる。近畿経済産業局が2008年11月に立ち上げた「関西・アジア環境・省エネビジネス交流推進フォーラム(チームE関西)」が推進役だ。中国の遼寧省と広東省、タイ、ベトナムを重点地域とし、水処理や廃棄物処理、省エネルギー関連の技術などをアジアで意欲的に提案している。

チームE関西のメンバーは3月上旬時点で217社・団体が参加する。活動は5年目に入るが、年々中身の濃い活動を行うとともに、メンバーは増加傾向にある。過去4回出展したタイ最大の環境展「エンテック・ポリユーテック・アジア」や、12年11月にはベトナム最大の水関連展示会「ベト・ウォーター」に関西ブースで初出展した(写真)。

近畿経済産業局は環境ビジネスが円滑に進むよう、政府機関や業界団体とのネットワークづくりを重視する。中国広東省佛山市南海区政府や中国・遼寧省環境保護庁と協力文書を結び、タイ工業省工場局やベトナムの現地政府機関などとも連携関係を築く。まずは相手国・地域で官のニーズを探り、コスト面なども加味し最適な環境システム・技術の提案を図る。

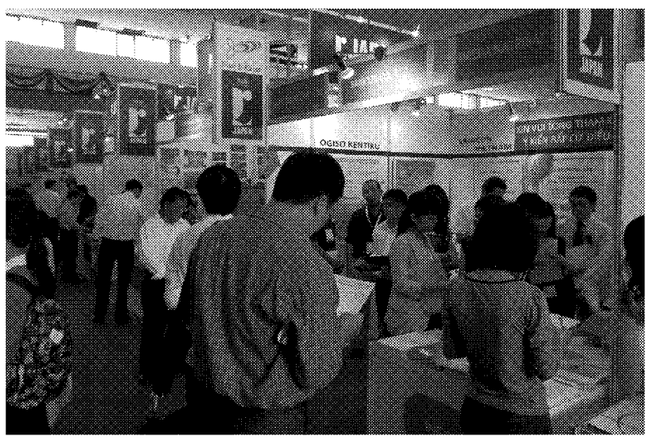
1社単独でなく複数社が集まったチームとして付加価値をつけているのも特徴だ。最も代表的なのは企業グループ「関西HANDs」。日立造船、ナガオカ(大阪府泉大津市)、ダイセン・メンブレン・システムズ(東京都新宿区)、アタカ大機の4社で構成される。各社の技術を生かす形で、取水から膜濾過、濃縮・脱水、汚泥処理といった水循環トータルシステムを中国で売り込む。

リマテック(大阪府岸和田市)、日立造船、関西再資源ネットワーク(堺市西区)などが参加し、タイのエコタウン整備に協力するミッションも展開中だ。廃棄物管理やリサイクルなどをワンストップサービスでの事業化を目指している。

チームE関西は大手企業と中小企業の会員が混じり合う。結成されたチームでも、フットワークのいい中小が意欲的に動きビジネスの突破口を開き、多様な技術やネットワークを持つ大手がそれに協力する形で、環境ビジネスを展開していく流れもある。

13年度から重点活動地域としてインドネシアを加えることも検討中だ。省エネ技術を提案するチームの結成も目指す。

12年度にチーム関西が主催したビジネスミッションには、大阪ガスやカネカ、東洋紡などの大手からフジキン(大阪市西区)、大和化学工業(大阪市大正区)、ポリグルインターナショナル(大阪市中央区)などの中堅・中小まで32社のメンバーが参加した。うち27社は水処理関連に該当する。これら環境ビジネスに関心を示すコアメンバーが原動力となり、成功モデルを多く作ることで、ビジネスチャンスは拡大しそうだ。



チーE関西の概要・活動スキーム

関西・アジア 環境・省エネビジネス交流推進フォーラム
(チームE関西)

設立 / 2008年11月
メンバー / 217社・団体(13年3月上旬)
会長 / 古川実(日立造船会長兼社長)
副会長会社 / クボタ、神鋼環境ソリューション、リマテック
事務局 / 近畿経済産業局
分科会 / 水分科会
(大阪商工会議所と共同事務局)

支援・協力機関(24機関)

- 海外展開支援機関
  JETRO、NEDO、JICA、等
- 地域の経済団体や関連機関
  関西経済連合会、大阪商工会議所、等
- 自治体 等
  大阪府、大阪市、和歌山県、滋賀県、等

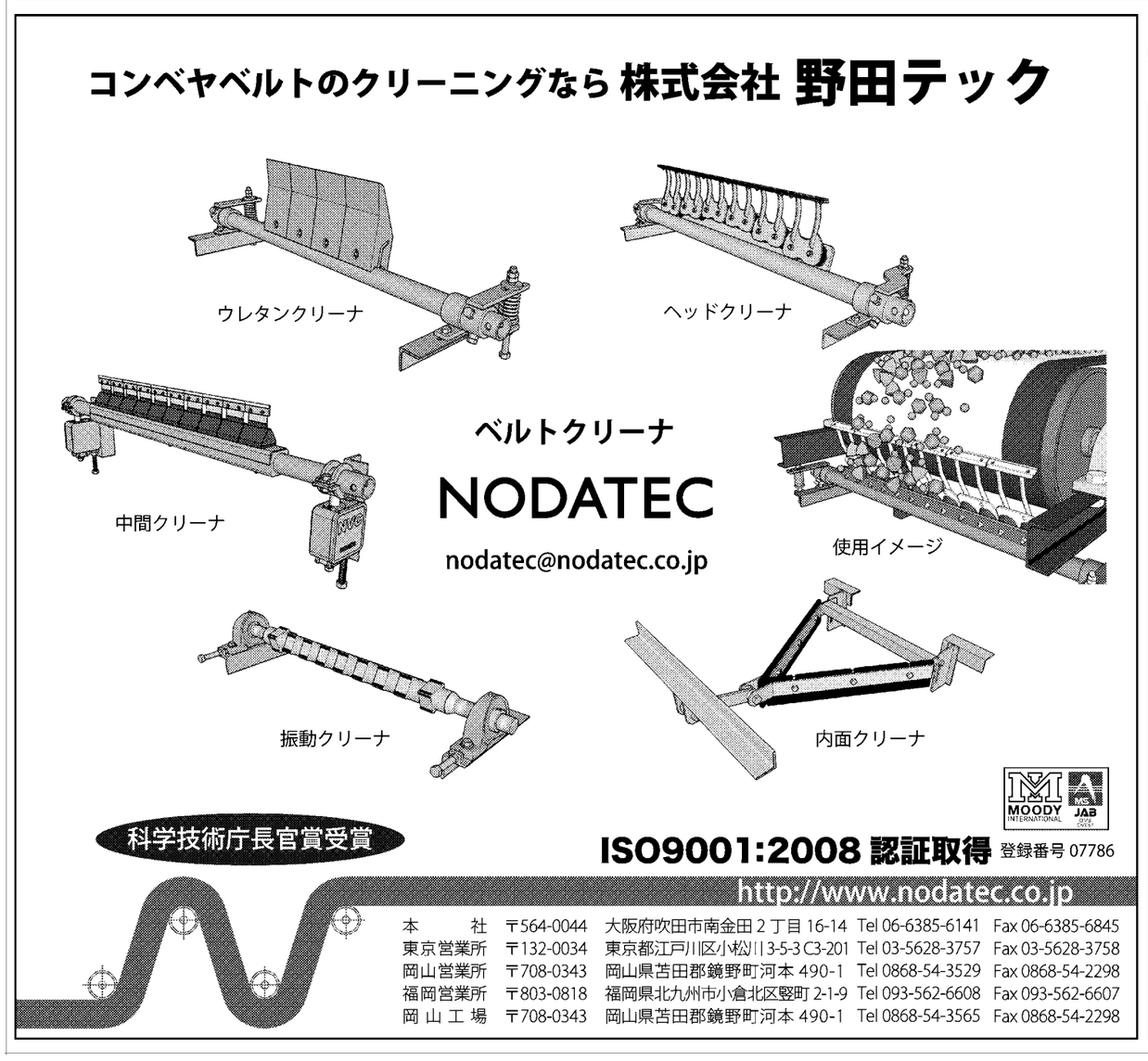
連携・支援・協力

近畿経済産業局 ⇔ 連携 ⇔ 現地政府機関
チームE関西 ⇔ 連携 ⇔ 現地民間団体

MOU(協力文書)等
ビジネス連携促進のための枠組み整備

- ▶ アジアでの展示会出展や商談会
- ▶ アジアからのミッション受け入れ
- ▶ システム提案型プロジェクトの推進
- ▶ セミナーやメルマガ等による情報提供
- ▶ メンバー企業の技術等の情報発信

当面の重点地域
- タイ
- 中国遼寧省
- 中国広東省
- ベトナム
- インドネシア(検討中)

目標
環境を核とした関西とアジアとの経済交流関係の深化・拡大

(近畿経済産業局の資料より)